

令和4年度概算要求 就職氷河期世代支援予算の概要

令和4年度概算要求額 207億円
(令和3年度予算額 212億円)

就職氷河期世代の方々への支援については、安定的な財源の下で関係者が安心して取り組めるよう、就職氷河期世代支援に関する行動計画2020（令和2年12月25日就職氷河期世代支援の推進に関する関係府省会議決定）等において、令和元年度補正予算を含め、「3年間で650億円を上回る財源を確保する」との方針を示している。この方針に基づき、令和元年度補正予算から令和3年度予算まで総額522億円を確保して支援を行ってきた。

令和4年度概算要求では207億円を要求し、就職氷河期世代の方々への支援を着実に進めていく。

※（ ）内は令和3年度予算額

1 相談、教育訓練から就職、定着まで切れ目のない支援

○きめ細かな伴走支援型の就職相談・定着支援体制の確立

- ・ハローワークにおける専門窓口の拡充、担当者によるチーム支援の実施
17.9億円（16.6億円）

○受けやすく、即効性のあるリカレント教育の確立（出口一体型）

- ・業界団体等による短期間での資格取得・正社員就職の支援等
26.0億円（27.5億円）

○採用企業側の受入機会の増加につながる環境整備

- ・特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）
21.2億円（14.3億円）

○民間ノウハウの活用

- ・民間事業者のノウハウを活かした不安定就労者の就職・定着支援
19.1億円（28.9億円）

2 個々人の状況に合わせた、より丁寧な寄り添い支援

○アウトリーチの展開

- ・アウトリーチ等の充実による自立相談支援機関の機能強化
11.7億円（31.7億円）
- ・ひきこもりに関する地域社会に向けた普及啓発と情報発信の実施
1.5億円（1.5億円）
- ・地域若者サポートステーションにおける就職氷河期世代の無業者の支援
46.7億円（51.7億円）

○支援の輪の拡大

- ・身近な基礎自治体におけるひきこもり支援の充実 29.8億円（11.5億円）
- ・ひきこもり支援に携わる人材の養成研修 1.6億円（1.2億円）
- ・地域における就労体験・就労訓練先の開拓・マッチング 1.0億円（3.3億円）
- ・就労準備支援事業等の広域的实施による実施体制の整備促進 0.8億円（5.8億円）
- ・農業分野等との連携強化モデル事業の実施 1.0億円（1.0億円）
- ・技能修得期間における生活福祉資金貸付の推進 2.2億円（2.2億円）

3 プラットフォームを核とした新たな連携の推進

○関係者で構成するプラットフォームの形成・活用

- ・就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム等
0.03億円（0.03億円）
- ・就職氷河期世代活躍支援都道府県プラットフォームを活用した支援
4.4億円（5.0億円）
- ・就職支援コーディネーター（人材開発支援分）の配置 4.9億円（8.1億円）

○地域における就職氷河期世代の先進的・積極的な取組への支援

- ・地域就職氷河期世代支援加速化交付金 16.3億円

4 その他の取組

○一人一人につながる戦略的な広報の展開

- ・就職氷河期世代等に対する積極的な広報の実施 0.9億円（1.4億円）

○その他関連施策

- ・国家公務員中途採用者選考試験（就職氷河期世代）の実施
0.2億円（0.7億円）

上記のほか、就職氷河期世代に関連する施策（内数表記となっている施策）も含めた合計額は、1,473億円程度（令和3年度予算：1,262億円程度）である。これも含め、デジタル人材の育成等のリカレント教育（求職者支援訓練におけるWEBプログラミング、地域企業におけるデジタル人材の育成等）、地方への人の流れの創出（地域おこし協力隊、テレワークの導入推進等）、中小企業、農林漁業等への就労支援等を通じ、就職氷河期世代を含めた支援に取り組んでいく。

<新規・増額要求している主な施策>

- ・新規就農者育成総合対策 236.1億円の内数（205.0億円の内数）
- ・就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業 5.2億円の内数（新規）
- ・地域未来DX投資促進事業 25.9億円の内数（新規）
- ・地域女性活躍推進交付金 11.6億円の内数（1.5億円の内数）
- ・地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業 10.2億円の内数（新規）